

当院は令和2年度 診療報酬改定において DPC特定病院群（大学病院本院に準じた 高密度な治療を提供できる施設） に指定されました。

DPCとは、大学附属病院と特定機能病院、その他多くの急性期病院が採用している、診断群によって入院患者さんの疾病を分類する制度で、以下の三つのグループに分かれています。

- 大学病院本院群（旧Ⅰ群） 大学附属病院の本院
- DPC特定病院群（旧Ⅱ群） 大学附属病院以外の特定機能病院と高密度診療病院
- DPC標準病院群（旧Ⅲ群） その他の急性期病院

DPC特定病院群とは、大学病院本院に準じた高密度な治療を提供できる施設のことであり、以下の4つの評価基準から判断されます。

評価 基準

1. 診療密度
2. 医師研修の実施
3. 高度な医療技術の実施
4. 重症患者に対する診療の実施

市立岸和田市民病院は、この度の診療報酬改定において厚生労働省より、「DPC特定病院群」の指定を受けました。今改定では全国に1,757病院あるDPC対象病院のうち、特定病院群には156施設、大阪府内では当院を含め14施設（泉州二次医療圏では、当院、岸和田徳洲会病院、りんくう総合医療センターの3施設）が指定されました。

また改めてご報告させていただきますが、当院は、令和2年4月に地域がん診療連携拠点病院（高度型）に指定されました。がん診療連携拠点病院の制度は、国民が日本のどこに住んでいても、大都市や地方にかかわらず、同じように質の高いがん医療を受けられることを目標に平成14年に始まりましたが、昨平成31年からは地域がん診療連携拠点病院の中でも、特にがん診療体制の整った施設が地域がん診療連携拠点病院（高度型）として指定される方針となりました。当院はがん診療連携拠点病院の制度発足時より泉州2次医療圏唯一の地域がん診療連携拠点病院として、後にできました大阪府指定のがん診療拠点病院と協力し、泉州地域のがん診療レベル向上のために尽力してまいりましたが、この度、地域がん診療連携拠点病院（高度型）の指定を受けた次第です。

今後も「DPC特定病院群」「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」として高度な医療を地域の皆様に提供してゆきます。どうぞよろしくお願いいたします。

院長

